

| 科目分類 | いのち・人間の教育 | | | 開講学科 | 看護学科 |
|--|---|---------|----|------|-------|
| 科目番号 | 学年 | 配当セメスター | 区分 | 単位数 | 授業時間数 |
| 71001 | 1 | 前期 | 必修 | 2 | 30 |
| 授業科目名 (英文) | 心理学 (Psychology) | | | | |
| 担当教員名 | 阿部 利恵 | | | | |
| 授業の概要及び到達目標 | | | | | |
| <p>人間の心は、臓器や筋肉のように具体的に観察したり、直接的に触れて治療したりすることはできないが、人間の身体や行動と密接に結びついている。心理学とは、心のはたらきを明らかにする学問であり、調査や実験のデータに基づいて、人間の情報処理のメカニズムや行動パターンなどを科学的に分析するものである。</p> <p>本講義では、医療・看護の現場への応用も視野に入れながら、知覚、認知、発達、人格、社会といった心理学の基礎を理解することを到達目標とする講義科目である。</p> | | | | | |
| 準備学習等 | | | | | |
| <p>第1回はこの講義のガイダンスを行ない、「心理学とは何か」について考える。</p> <p>第2回：第1章「感覚・知覚の心理」</p> <p>第3回：第2章「学習・記憶の心理」A.学習と行動</p> <p>第4回：第2章「学習・記憶の心理」B.記憶</p> <p>第5回：第3章「感情・動機の心理」</p> <p>第6回：第5章「発達の心理」A.発達段階・B.乳幼児</p> <p>第7回：第5章「発達の心理」C.児童期～青年期</p> <p>第8回：第5章「発達の心理」D.青年期～老年期</p> <p>第9回：第4章「性格・知能の心理」A.性格・知能検査</p> <p>第10回：第4章「性格・知能の心理」B.知的・発達障害</p> <p>第11回：第6章「社会・集団の心理」</p> <p>第12回：第7章「健康の心理と人間理解」</p> <p>第13回：第8章「臨床心理学の基礎と心理アセスメント」A.臨床心理学</p> <p>第14回：第8章「臨床心理学の基礎と心理アセスメント」B.アセスメント</p> <p>第15回：第9章「カウンセリングと心理療法」</p> | | | | | |
| 成績評価の方法 | 定期試験 70%。レポート 30%。ただし授業に積極的に取り組む姿勢も加味します。 | | | | |
| テキスト | 長田久雄, 「看護学生のための心理学」第2版, 医学書院, 2016.1 | | | | |

| | |
|--|-------------------|
| 参考図書 | 各回の授業中に紹介します |
| 備 考 | 質問等は授業終了後に受けつけます。 |
| 授 業 計 画 | |
| <p>第 1 回：ガイダンス</p> <p>第 2 回：五感・刺激・錯視等</p> <p>第 3 回：強化、条件付け・行動療法</p> <p>第 4 回：記憶の仕組み・忘却</p> <p>第 5 回：感情の分類・動機と欲求・欲求不満と葛藤</p> <p>第 6 回：ピアジェの発達段階・乳幼児の知的、社会的発達</p> <p>第 7 回：児童期・青年期の、心理、社会的発達</p> <p>第 8 回：青年期・老年期の、心理的発達と発達課題</p> <p>第 9 回：性格理論・知能検査</p> <p>第 10 回：知的・発達障害</p> <p>第 11 回：認知的不協和理論・帰属・集団心理</p> <p>第 12 回：ストレス理論・対人援助職の特徴理解</p> <p>第 13 回：臨床心理学の基礎・援助技術</p> <p>第 14 回：アセスメント</p> <p>第 15 回：心理療法・まとめ</p> <p>定期試験</p> <p>※授業の進捗度・理解度等により変更する場合もある。</p> | |